

危険予知トレーニング（KYT）活用方法

1. 危険予知トレーニング（KYT）

危険（Kiken）、予知（Yochi）、トレーニング（Training）の略称で KYT とされています。

人的要因の不安全行動に関する危険予測を学習する方法として普及し、現在は、様々な状況下に潜む危険要因を察知し、事故等を未然防止するための対策を目的として実践されています。

KYTを通して、生徒が危険を予測し、判断する力を身に付け、その後の様々な場面での実践につなげていけるようにすることをねらいとしています。

2. 活用方法

（1）1 単位時間（50 分）で実践（個人→グループ）

- ①ワークシート（別添）を配布。
- ②電子黒板に KYT シート（教室版）を映し出す。（KYT シートを印刷して提示）
- ③KYT シートの危険ポイント（どんな危険がひそんでいるか）、どんな危険やケガにつながりそうなのか（危険予測）を、1 か所のみ生徒に発表させ、全体で確認する。
- ④③以外の危険ポイントを各自で探し、危険予測を行いワークシートに書き込む。
- ⑤3～4 名でグループを作る。
- ⑥グループで④で予測した危険ポイントの実践できる危険回避（方法・行動）を話し合う。
- ⑦各グループで話し合った危険回避（方法・行動）の発表内容を学級全体で共有し、実践に向け確認する。

（2）10 分で実践（学級全体）

- ①電子黒板に KYT シート（体育編）を映し出す。（KYT シートを印刷して提示）
- ②KYT シートの危険ポイント（どんな危険がひそんでいるか）、どんな危険やケガにつながりそうなのか（危険予測）を生徒に発表させ、全体で確認する。
- ③②で確認した危険ポイントの実践できる危険回避（方法・行動）を発表させる。
- ④③の発表内容を学級全体で共有し、実践に向け確認する。

K Y Tワークシート

年 組 番 氏名 ()

	危険ポイント	危険予測	危険回避（方法・行動）
	どんな危険がありますか (K Y Tシートの危険ポイントを○で 囲み、ワークシートに書き出してみよう)	危険をそのままにすると、 どんな危険やケガが起こりそうですか	どうしたら、危険を回避できますか
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			